

令和5年度 技術・家庭〔技術分野〕 <第1学年> 年間指導計画と評価規準

技術・家庭 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

第1学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能 思は、思考・判断・表現 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	内容	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	ガイダンス	生活や社会における技術の役割	①技術の役割 ②技術の見方・考え方 ③技術と生活・産業	知 思 主 ・人びとの「願い」を実現するための技術を見つけ、その役割を考えている。 ・技術の見方・考え方を知り、関心を持っている。 ・技術の向上により生活や産業に及ぼす影響を考えている。	知 ・定期テスト ・製作品 思 ・定期テスト ・グループワーク ・発表内容 ・ノート
5	A	1-1 生活や社会と材料と加工の技術 (p22-25)	①生活や社会を支える材料と加工の技術 ②身の回りにある材料と加工の技術	知 思 主 ・生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。	主 ・授業態度 ・提出物 ・ノート ・授業中の発言 ・グループワークや作業への取組 ・振り返りシート
6	材料と加工の技術	1-2 材料を利用するための技術 (p26-43)	①さまざまな材料と加工の技術 ②木材の材料と加工の技術 ③構造を丈夫にする方法 ④製図	知 ・木材や金属などの材料と使用方法を説明できる。 ・木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則を説明できる。 ・じょうぶな構造や形状・組み合わせについて科学的な原理・法則を説明できる。 ・図面を読んだり、書いたりすることができる。	知 ・授業中の発言 ・グループワークや作業への取組 ・振り返りシート
思 ・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。					
主 ・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。					
9		2-1 問題解決の手順 (p44-55)	①問題解決の流れ ②問題の発見と課題の設定	知 ・製作品の構想図をかき、試作品を製作することができる。 ・製作品の製作に必要な図面や表をかきあらわすことができる。	

1 0	A	③設計	知	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の問題解決の手順から、問題解決の視点について、気付くことができる。 ・生活の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだし、整理・整頓に関わる課題を設定することができる。 ・課題の解決策となる製作品の大きさ・形状・構造など、使用場所や加工方法・使用できる材料などの制約条件に基づいて構想し、設計や計画を具体化できる。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・製作品 		
			主	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・グループワーク ・発表内容 ・ノート 		
		1 1 2	2-2 製作のための 技能(木材) (p68-79)	①材料取りと部品加工 ②組み立てと仕上げ	知	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・適切に材料取り、材料取り・切断・部品加工を行うことができる。 ・安全・適切に組立て・仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。 	主	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・ノート ・授業中の発言 ・グループワークや作業への取組 ・振り返りシート
					思	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に組立てができるよう手順を考えて組立てを行うことができる。 ・完成した製作品が設定した課題解決できるかを評価するとともに、設計や製作の過程に対する改善及び修正を考慮することができる。 		
					主	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。 		
		2	3 これからの材 料と加工の技 術 (p88-91)	①材料と加工の技術の学 習をふり返ろう ②材料と加工の技術と私 たちの未来	知	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習と、材料と加工の技術が安全な生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。 		
					思	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現を目指して、材料と加工の技術を評価し、適切な選択・管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。 		
					主	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。 		
		3	1-1 生活や社会と 情報の技術 (p196-199)	①生活や社会を支える情 報の技術 ②身の回りにある情報の 技術	知	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 		
					思			
主								
知	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 							
1-2 情報とコンピ ュータ (p200-217)	①コンピュータの構成 ②コンピュータの機能と 装置 ③コンピュータを使って 機器を自動で動かすしく み ④コンピュータによる処 理のしくみ ⑤プログラムの構造と表 現 ⑥情報のデジタル化 ⑦デジタル情報の特徴	知	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 					
		思						
		主						